平成 29 年 5 月 2 日

生徒の皆さんへ

北海道枝幸高等学校長　　吉　田　勝　文

開校記念日に当たって

平成 29 年 5 月 6 日は、本校の 67 回目の開校記念日です。

本校は、昭和 26（1951)年、教育水準の向上を願う地域住民と保護者の要望の高まりの中で、町立枝幸高等学校定時制課程普通科として開校しました。旧枝幸中学校の校舎の一部を仮校舎として発足し、開校式を挙行した 5 月 6 日を開校記念日と定めました。以来、昭和 29 年の全日制課程普通科の設置、昭和 30 年の現在地の校舎新築と移転、昭和 39 年の道立移管、昭和 58 年の定時制課程の閉課などを経て、67 年の歴史を積み重ねてきました。

昭和 58 年から改築された旧校舎は、数度にわたる増改築を繰り返して来ましたが、それは郷土枝幸町の発展を願い、教育設備の充実に尽力された町民や教育関係者の期待の表れでもありました。その期待に応えるかのように、「北溟」の地に学び、町内や道内、国内で活躍する卒業生は 6,200 余名を数えます。

そうした中、今年度から文部科学省教育課程研究指定校事業（社会で生きるために必要な思考力・表現力と論理的思考力の育成）の指定を受け、新たな歴史を刻もうとしています。学校教育目標として掲げる「『よく生きる』ことを実践的に探究する力を養う」ことを目指して、生徒の学習意欲と主体的に学ぶ態度を養い、より高いレベルでの進路実現を図れるよう、授業や特別活動を実施し、地域の人々の期待に応えられる学校づくりを目指したいと考えています。

是非皆さんも、枝幸高校で学ぶことができる自分自身に誇りを持ち、志を高くして一人一人が枝高生としての自覚を新たにして、さらなる飛躍ができる一歩を踏み出す日としてほしいと思います。

皆さんの学舎は、これまでのさまざまな歴史の積み重ねの上に存在しています。これまで諸先輩が担ってきた「古き歴史を受け継ぎて　ここに文化を築かん」の精神を受け継ぎ、過去を振り返り、現在を見つめ、そして未来を描きましょう。先輩方が築き上げた伝統を踏まえ、新たな枝幸高校の歴史を作るのは皆さん一人一人です。